

# 領内出張所だより

88



環境クリーン運動

お疲れさまでした

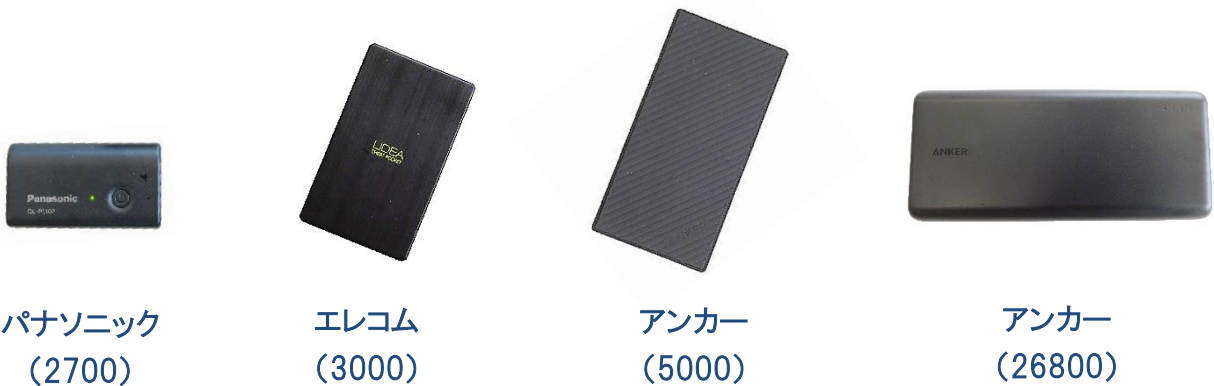
平成 29 年  
(2017 年)



## 携帯する道具

固定電話が世帯に1台ずつ普及し始めたのとは違って、携帯電話・スマートフォンは個人単位で所有するようになり爆発的に増加していきました。“モバイル（持って動くことができる）”という特長が受け入れられたのです。現在では、自宅に固定電話が設置されていない世帯が多く、職場での電話にまともに出られないという悩みを抱えた若者が増えているようです。そのくらい固定電話の活用頻度が激減し、モバイルフォンが席卷して世の中を大きく変えていきました。

電子機器のため、これを動かす電気を充電するのにリチウムイオン電池が“モバイルバッテリー”として生産されていくのですが、最初は高価で小容量でした。



上に並んでいるのは個人所有のモバイルバッテリーで、最初に購入したものと最新の商品では容量が約10倍になっていて、とても便利になっています。

### モバイルバッテリー搭載型の急速充電器

充電器でもあるし、モバイルバッテリーでもある便利な“道具”

コンセントに差し込んでケーブルで繋いだ  
他のバッテリーを充電し終わると  
本体にも蓄電する優れたもの



もの どうぐ  
物と道具は使いよう  
活かしてこそその利器

上段：製造メーカー名  
下段：容量(mAh)

しかしながら、買い求めやすくなったからといって“安かろう、悪かろう”に簡単に手を出してはいけません。機能の点では大容量であるとか充電が速いなどと優れていても、安全面に対して配慮のないものは火事などの事故を起こしてしまい兼ねません。先月、東京のJR神田駅で背負っていたリュックから火が出たという報道がありました。安いモバイルバッテリーが原因だったようです。



メーカー不明  
(16000)

### 安いとは思っていたけど・・・失敗例です

防水防塵で衝撃にも強く、太陽光を使って充電出来る、容量も大きいという触れ込みの海外からの輸入品。2ヶ月使用して防水カバーのゴムが切れてしまい“防水”ではなくなっていました。

→ 水のかかる場所では使用しないことにより様子を見ながら使っています。  
みなさん信頼出来るモノを購入しましょう！

ちなみに、みなさんは携帯電話やスマートフォンを充電しながら操作したことはありませんか？電池のあたりが熱を帯びたり膨張してゾッとした経験が私にはあります。今では恐ろしくてしないようにしていますが、蓄電池自体は充電中少しは熱を持つようです。カイロにもなるモバイルバッテリーが販売されているくらいですからね。もし火傷するくらいの熱を感じるようなら、すぐに使用を止めるようにしてください。

それと、今回気になって購入してみた違いがよくわかったのですが、充電する時のケーブルは能力に差があって、付属品のケーブルよりも別途購入するもののほうが早く充電出来る場合があるようです。いつも充電が遅いなと感じている方は一考してみてください。

## 蓄電池の可能性

個人が購入出来る充電型電池で一番高価なものは電気自動車とされています。いざとなったら建物に電気を供給することが可能なようです。でも、“車は車、家は家”なので、建物用の蓄電池、“家庭用蓄電池”が最近登場しました。屋根などに設置した太陽光パネルによって発電した電気を蓄えておける“車より安価な電池”が出回り始めました。どうやら余った電気を買ってもらえなくなるパネルの設置者向けに販売出来るよう開発を急いでいるようです。これからのこととなりますが、パネル設置をせずとも“家庭用蓄電池”に深夜電力を蓄えたり、小水力発電などを活用して地域ぐるみで蓄電する取り組みが出来たりと、未来に向けて“出来る”ことが増えていきそうな感じがしています。

# 今月の備忘録

忘れないでね!

## 国民健康保険の被保険者の方へ

新しい保険証が郵送（普通郵便）でお手元に届いた頃です。

※ 届いていない場合や不明な点がありましたら出張所へお尋ねください。

アイボリー色

9月30日まで有効

グレー色

10月から使う  
新しい保険証

## 家具固定を検討している世帯の方へ

役場総務課から「家具固定事業」の募集についての回覧がありました。

この事業は対象世帯に限定されていますが、ほとんどのみなさんが各地で地震が起こるたびに気にされているようです。

そこで領内出張所では事業の対象世帯であるかどうかは関係なく、相談・訪問させていただくことにしました。

実際にどう備えたら良いのか、領内出張所にお気軽にお尋ねください。



大井区の敬老会の様子です。活気があってとても盛り上がりました。言葉で説明するより当日の写真を見ていただいたほうがわかりやすいと思います、関係者の方にお願ひして掲載させてもらいました。みんなで笑って過ごすひとときの大切さを再認識することが出来た一日でした。

あとながき